



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年2月9日

上場会社名 株式会社立花エレテック 上場取引所 東  
 コード番号 8159 URL <https://www.tachibana.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 布山尚伸  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部門担当兼経営戦略室長 (氏名) 松浦良典 (TEL) 06-6539-2718  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	168,642	21.0	7,248	64.3	7,931	59.7	5,616	61.0
2022年3月期第3四半期	139,419	22.9	4,412	70.3	4,967	79.0	3,489	47.3

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 6,242百万円(99.0%) 2022年3月期第3四半期 3,136百万円(△32.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	224.85	—
2022年3月期第3四半期	138.26	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	156,333	81,733	52.3
2022年3月期	135,172	77,240	57.1

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 81,733百万円 2022年3月期 77,240百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2023年3月期	—	40.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	40.00	80.00

- (注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有  
 2. 2022年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 20円00銭 記念配当 10円00銭  
 3. 配当予想の修正につきましては、本日(2023年2月9日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	220,000	13.7	9,000	34.1	9,500	28.2	6,650	29.3	266.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	25,025,242株	2022年3月期	25,025,242株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	46,971株	2022年3月期	46,888株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	24,978,317株	2022年3月期3Q	25,237,654株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの下で経済活動に持ち直しの動きが見られたものの、長期化するウクライナ情勢に加えて原材料価格の高騰による物価の上昇と急速な為替の変動など、先行き不透明な状況の中で推移しました。

当社企業グループが関係する業界におきましては、半導体製造装置関連や物流関連は好調を維持し、食品や素材関連も堅調に推移したものの、多くの企業は部品不足と原材料価格高騰への対応を迫られました。

このような状況下にあつて当社企業グループは、商社として供給責任を果たすべく製品調達に努めるとともに、お客様の需要動向を的確に捉えた販売活動に注力いたしました。また、将来を見据えた活動として2年目を迎える中長期経営計画「NEW C.C.J200」では、来るべき未来社会に選ばれる技術商社として、ロボットやM2M技術を活用した工場の自動化、省人化ニーズへのシステム対応、3Dプリンターによる新しいものづくり技術の普及に向けた活動など、中計に掲げた重点施策に鋭意取り組むとともに、利益生産性の向上を図るべくデジタル化による業務の合理化・効率化についても推し進めてまいりました。

以上の背景から、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高1,686億42百万円（前年同期比21.0%増）、営業利益72億48百万円（前年同期比64.3%増）、経常利益79億31百万円（前年同期比59.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は56億16百万円（前年同期比61.0%増）となり、国内外の子会社の好業績にも支えられ、売上高、各利益項目ともに第3四半期として過去最高の結果となりました。

セグメント別については以下のとおりであります。

#### 〔FAシステム事業〕

売上高：830億45百万円（前年同期比12.2%増）、営業利益：41億32百万円（前年同期比45.0%増）

FA機器分野では、半導体製造装置関連及び物流関連で設備投資の好調が継続しており、プログラマブルコントローラー、ACサーボ及び配電制御機器が大幅伸長するとともに、物流機器に組み込まれるセンサーが大幅に伸長しました。産業機械分野では、政府による補助金効果もありレーザー加工機と工作機械が大幅伸長しました。産業デバイスコンポーネント分野では、タッチパネルモニターが伸長するとともに子会社で好調業種向けに接続機器が大幅に増加いたしました。

その結果、当事業全体の売上高は、前年同期比12.2%の増加となりました。

#### 〔半導体デバイス事業〕

売上高：690億27百万円（前年同期比34.8%増）、営業利益：31億52百万円（前年同期比99.7%増）

半導体デバイス事業では、半導体・デバイス製品の需要は依然高水準に推移しており、一部製品の確保に奔走する状況が続いております。マイコン、ロジックIC、アナログIC、更にパワー半導体などが国内子会社を含めて大幅に伸長するとともに、海外においても日系企業向けを中心に大きく伸びました。電子デバイス分野では、メモリーやセンサーの各応用製品やコネクタが大幅に増加しました。

その結果、当事業の売上高は前年同期比34.8%の増加となり、第3四半期として過去最高となりました。

#### 〔施設事業〕

売上高：123億14百万円（前年同期比15.9%増）、営業損失：2百万円（前年同期は2百万円の利益）

施設事業では、空調機器関連のビル用マルチエアコンは案件少なく伸び悩みましたが、店舗用パッケージエアコンは卸商向けが好調でした。一方、リニューアル需要を受けて物流関連向けなどに昇降機やLED照明が好調に推移するとともに、エコキュートや電気温水器等の住設機器も大幅に伸長しました。また、監視制御設備が官公庁向けの大口案件等により大きく伸長しました。

その結果、当事業全体の売上高は前年同期比15.9%の増加となりました。

〔その他〕

売上高：42億54百万円（前年同期比18.9%増）、営業損失：34百万円（前年同期は20百万円の損失）

MMS分野では、立体駐車場向け部材が増加しましたが、金属部材の価格高騰を受けて利益確保は厳しい状況でありました。EMS分野では、部材不足の影響を受ける中、家電向け液晶基板ビジネスが大幅に増加しました。

その結果、その他事業は増収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて211億60百万円増加の1,563億33百万円となりました。この主な要因は、現金及び預金の増加88億57百万円、受取手形、売掛金及び契約資産の増加95億59百万円、棚卸資産の増加33億69百万円によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べて166億67百万円増加の745億99百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の増加151億63百万円、短期借入金の増加17億64百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて44億93百万円増加の817億33百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加38億67百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結通期業績予想につきましては、2022年11月10日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（2023年2月9日）公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであり、実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,223	20,081
受取手形、売掛金及び契約資産	64,397	73,956
有価証券	100	—
棚卸資産	26,571	29,941
その他	4,379	4,964
貸倒引当金	△59	△65
流動資産合計	106,612	128,878
固定資産		
有形固定資産	5,596	5,470
無形固定資産	551	578
投資その他の資産		
投資有価証券	20,429	19,221
退職給付に係る資産	1,021	1,010
その他	1,047	1,261
貸倒引当金	△85	△86
投資その他の資産合計	22,412	21,405
固定資産合計	28,560	27,454
資産合計	135,172	156,333
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	42,043	57,206
短期借入金	4,944	6,709
未払法人税等	2,008	1,473
賞与引当金	1,284	1,030
その他	4,569	5,403
流動負債合計	54,850	71,822
固定負債		
長期借入金	103	93
退職給付に係る負債	656	645
その他	2,321	2,038
固定負債合計	3,081	2,776
負債合計	57,932	74,599

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,874	5,874
資本剰余金	6,146	6,146
利益剰余金	58,965	62,833
自己株式	△58	△58
株主資本合計	70,927	74,795
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,370	4,571
繰延ヘッジ損益	2	△8
為替換算調整勘定	524	2,036
退職給付に係る調整累計額	414	338
その他の包括利益累計額合計	6,312	6,937
純資産合計	77,240	81,733
負債純資産合計	135,172	156,333

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	139,419	168,642
売上原価	121,006	146,184
売上総利益	18,413	22,457
販売費及び一般管理費	14,000	15,209
営業利益	4,412	7,248
営業外収益		
受取利息	63	53
受取配当金	306	337
為替差益	76	201
その他	152	139
営業外収益合計	598	731
営業外費用		
支払利息	17	28
その他	26	20
営業外費用合計	43	48
経常利益	4,967	7,931
特別利益		
投資有価証券売却益	80	170
特別利益合計	80	170
特別損失		
投資有価証券評価損	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	5,043	8,102
法人税等	1,553	2,486
四半期純利益	3,489	5,616
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,489	5,616



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	3,489	5,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△656	△799
繰延ヘッジ損益	△0	△11
為替換算調整勘定	380	1,511
退職給付に係る調整額	△77	△75
その他の包括利益合計	△353	625
四半期包括利益	3,136	6,242
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,136	6,242
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	71,063	32,962	10,623	114,650	2,859	117,509	—	117,509
アジア他	2,946	18,244	—	21,191	718	21,909	—	21,909
顧客との契約から 生じる収益	74,009	51,207	10,623	135,841	3,577	139,419	—	139,419
外部顧客への売上高	74,009	51,207	10,623	135,841	3,577	139,419	—	139,419
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	74,009	51,207	10,623	135,841	3,577	139,419	—	139,419
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	2,850	1,578	2	4,432	△20	4,412	—	4,412

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	FAシステム 事業	半導体デバ イス事業	施設事業	計				
売上高								
日本	79,544	42,626	12,314	134,485	3,714	138,200	—	138,200
アジア他	3,500	26,401	—	29,901	539	30,441	—	30,441
顧客との契約から 生じる収益	83,045	69,027	12,314	164,387	4,254	168,642	—	168,642
外部顧客への売上高	83,045	69,027	12,314	164,387	4,254	168,642	—	168,642
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	83,045	69,027	12,314	164,387	4,254	168,642	—	168,642
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は営業損失(△))	4,132	3,152	△2	7,283	△34	7,248	—	7,248

(注) 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、「MS事業」を含んでおります。